

人間総合学群心理学類		／人文科学研究科臨床心理学専攻					
氏名	飯田 敏晴	職名	准教授	専攻分野	心理学	学位名	博士（心理学）
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p>【論文】</p> <p>「急性リンパ性 白血病の青年の移植前後における心理過程—チーム医療における臨床心理士の役割」『心理臨床学研究』第29巻第4号、2011年10月（単著）</p> <p>「HIV 自己イメージ尺度(HIVSIS)の信頼性と妥当性の検討」『コミュニティ心理学研究』第16巻第1号、日本コミュニティ心理学会、2012年9月（共著）</p> <p>「HIV 感染の治療過程で自殺企図を繰り返した在日外国人：チーム医療における多文化間カウンセラーの役割をめぐって」『こころと文化』第14巻第2号、多文化間精神医学会、2015年9月（共著）</p> <p>【著書】</p> <p>『エイズ相談利用促進に関わる規定要因の心理学的検討』風間書房、2016年12月（単著）</p> <p>『援助要請と被援助志向性の心理学—困っていても助けを求められない人の理解と援助』金子書房、2017年3月（共編著）</p>							
最近5年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p>【著書】</p> <p>『看護学テキスト NiCE 病態・治療編 [12] 精神疾患』南江堂、2018年9月（分担執筆）</p> <p>『事例から学ぶ 心理職としての援助要請の視点：「助けて」と言えない人へのカウンセリング』金子書房、2019年5月（共編著）</p> <p>『コミュニティ心理学シリーズ1 心の健康教育』金子書房、2021年4月（共編著）</p> <p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エイズ検査・相談利用の利益性・障がい性認知尺度作成の試み」『日本エイズ学会誌』第20巻第3号、日本エイズ学会、2018年8月（単著） ・「多文化社会におけるカウンセラー教育に関する一考察：日本型多文化カウンセリングコンピテンシー抽出の必要性（特集 多文化カウンセリングとコミュニティ心理学の接点）」『コミュニティ心理学研究』第24巻第1号、日本コミュニティ心理学会、2020年9月（単著） ・「ウィズコロナ時代における事例研究会の試み（特集 ウィズコロナ時代に求められる心理学の叡智）」『コミュニティ心理学研究』第25巻第2号、日本コミュニティ心理学会、2022年3月（共著） ・「身近な他者への援助要請におけるセルフスティグマ尺度の作成」『学校心理学研究』第22巻、第1号、日本学校心理学会、2023年3月（共著） <p>【書評】</p> <p>「摂食障害のすべて（高木洲一郎著、日本評論社 四六判 208頁）」『心と社会』第52巻第3号、日本精神衛生会、2021年9月（単著）</p> <p>【研究発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Meta-analysis of help-seeking across Japanese studies (1): An association with self-esteem. 							

40th International School Psychology Association Conference. 2018年7月,北区.(共演)

・Meta-analysis of help-seeking across Japanese studies (2): An association with social support.

40th International School Psychology Association Conference. 2018年7月,北区.(共演)

・Meta-analysis of help-seeking across Japanese studies (3): An association with gender differences. 40th International School Psychology Association Conference. 2018年7月,北区.(共演)

・Meta-analysis of help-seeking across Japanese studies (4): An association with subjective distress. 40th International School Psychology Association Conference. 2018年7月,北区.(共演)

・意思決定を阻害する社会・文化的影響 : HIV 陽性の中年男性との面接を通じて. 第25回多文化間精神医学会学術集会, 2018年11月,成田市.(単独)

・異文化シュミレーションゲームによる異文化感受性への教育効果: 支援者に応じた教育プログラムについて考える. 日本コミュニティ心理学会第22回大会, 2019年6月,茨木市.(単独)

・心の健康教育に対する評価指標の開発(1) 指標の作成プロセス. 日本コミュニティ心理学会第22回大会, 2019年6月,茨木市.(共演)

・心の健康教育に対する評価指標の開発(2): 活用の一事例. 日本コミュニティ心理学会第22回大会, 2019年6月,茨木市.(共演)

・援助要請へのセルフスティグマ尺度の作成. 日本心理学会第83回大会, 2019年9月,茨木市.(共演)

・Visser スティグマ認知尺度日本語版の作成: エイズ検査・利用の規定要因の観点から. 日本心理学会第83回大会 2019年9月,茨木市.(単独)

・大学生のオンラインカウンセリングへの援助要請の特徴とその関連要因. 日本コミュニティ心理学会第24回大会, 2021年9月,オンライン.(共演)

・高次脳機能障害の進行により一般病棟への入院継続が困難となったが、多職種との連携により外来治療継続が可能となった HIV 関連認知障害の一例. 第35回日本エイズ学会学術集会・総会. 2021年12月,品川区.(共演)

・利益・コストの予期と援助要請の関連(1). 日本カウンセリング学会第54回大会. 2022年8月,オンライン.(共演)

・利益・コストの予期と援助要請の関連(2). 日本カウンセリング学会第54回大会. 2022年8月,オンライン.(共演)

【講演・シンポジウム】

・健康心理学における援助要請: 心身のケアを届けるために. 日本健康心理学会第31回大会 2018年6月,京都市.(共演)

・コミュニティ心理学的支援における他職種との連携: 連携の実践知とは. 日本コミュニティ心理学会第21回大会, 2018年7月,千代田区.(共演)

・援助要請の過剰性の特徴. 日本心理学会第82回大会, 2018年9月,仙台市.(共演)

- ・多文化化するコミュニティにおける心理支援を担う人材育成：コミュニティ心理学の役割を考える。日本コミュニティ心理学会第22回大会, 2019年6月, 茨木市. (共演)
- ・援助要請研究に基づくコミュニティ・アプローチの可能性。日本心理学会第85回大会, 2021年9月, オンライン. (指定討論)
- ・コミュニティで何が起きているか。日本コミュニティ心理学会第25回大会. 2022年9月 (司会)
- ・研究成果をコミュニティに：実践・フィールドからどのように研究・論文を生み出すか。日本コミュニティ心理学会第25回大会., 2022年9月 (司会)
- ・小学生の援助要請の特徴：援助要請に優しい学校をめざした議論。日本心理学会第86回大会, 2022年9月 (司会)